地域イントラネットシステム

牧本健二*
藤井正泰*
小林伸太郎*

要　旨

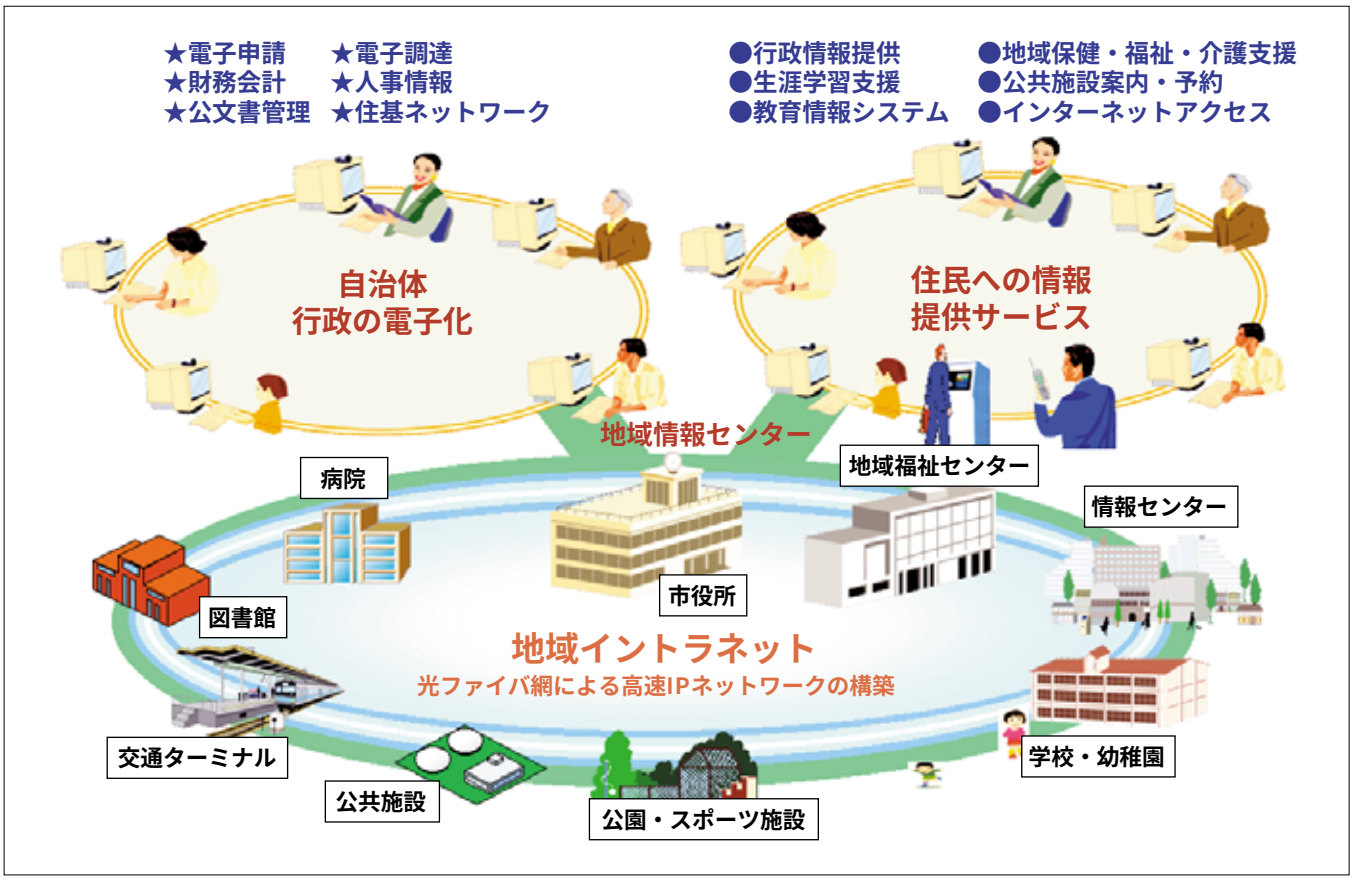
e-Japan構想による国の補助事業を活用した地域イントラネットの構築が盛んである。地域イントラネットは，地域内高速光ネットワークインフラを基盤として，地域住民に対する情報提供サービスを主目的に構築される。今後，整備した地域内高速光ネットワークインフラを以下の用途へ利用していく動きがあり，三菱電機は，実現に向けてキーとなるセキュリティシステムの技術開発を実施中である。

(1) 電子自治体システムを実現するためのネットワーク基盤

(2) 自治体合併を想定したネットワークの広域化

上記利用を含め，地域イントラネット上に構築される各アプリケーションは，利用者(職員か地域住民)や扱うデータ(住民サービス情報又は機密情報)の種別により，ネットワーク要件，セキュリティ要件が異なる。これら異なるアプリケーションを単一ネットワークインフラ上に共存させるためには，職員認証による機密データ類の保護や，利用形態に応じたネットワークの論理的分離が必要となる。

本稿では，これら職員認証技術とネットワークシステム構築技術を中心に，地域イントラネットシステムを構成する要素技術について当社の取り組みを述べる。



今後の地域イントラネットシステムの全体イメージ

地域内の主要施設を結ぶ高速光ネットワークインフラをベースに，地域住民への情報提供サービス機能に加えて，今後は自治体行政の電子化を目的とした電子自治体機能が追加されていく。利用者ごと(地域住民か自治体職員)に必要十分なセキュリティを確保し，だれもが快適にサービスを享受できる。

*電力・産業システム事業所